

平成28年度進行管理・評価シート
国見町歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）
（最終変更 平成28年4月28日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実現に向けた推進体制	1
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 阿津賀志山防塁史跡整備事業	2
2 無形民俗文化財活動支援事業	3
3 歴史的町並み調査事業	4
4 国見石保存・活用調査事業	5
5 歴史を活かしたまちづくり推進事業	6
6 情報発信拠点整備事業	7
7 文化財保存ガイダンス施設整備事業	8
8 案内ボランティア育成事業	9
9 周遊性向上検討・案内板設置事業	10
10 地域の文化遺産の総合的な把握のための調査事業	11
11 文化財の維持修理に関する取組	12
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組	13
2 文化財の周辺環境の保全に関する取組	14
3 文化財の防災に関する取組	15
4 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組	16~17
5 埋蔵文化財の取扱いに関する取組	18
6 文化財の保存活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組	19
7 文化財の保存・活用に関わる近隣市町村等との連携・協力した取組	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 「旧小坂村産業組合石蔵」国登録文化財等	21
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 文化財の保存・活用の普及・啓発による効果	22
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	23

評価軸①-1 組織体制

	評価対象年度	平成28年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
計画の実現に向けた推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 歴史まちづくり庁内検討委員会で計画推進のため庁内の連絡調整を行うものとする。「国見町歴史的風致維持向上計画協議会」に意見や協力を求めることとし、事務局・庁内検討委員会は連携・調整し、計画の推進や計画の変更について連絡調整を行い、必要に応じて国・県と協議しながら進める。

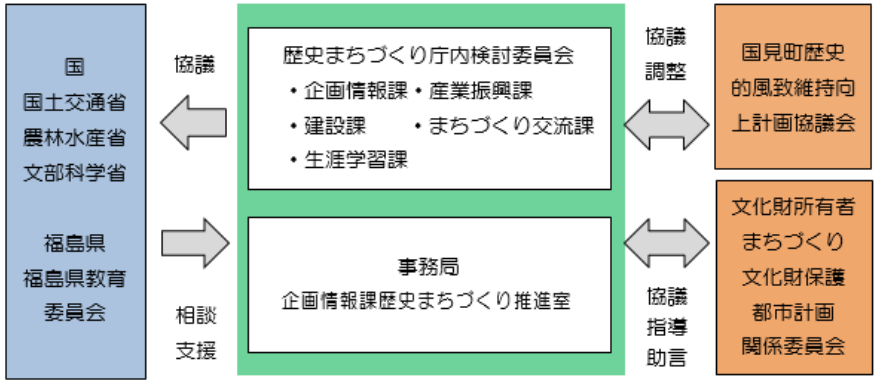
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史まちづくり推進室が事務局として、歴史まちづくり庁内検討委員会で事業の実施に係る調整、情報収集、進捗管理等を行った。
 H28年度の庁内検討委員会の体制は、5課17名(H27年度16名)で、委員会は全8回開催し、横断的な事業推進に向けた協議を行なった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史まちづくり計画の事業推進に向け、一層の情報共有と、目的の共有化を図ることが必要であり、連携を強化していく。
--	---

状況を示す写真や資料等



■計画の推進体制図

●平成28年度歴史まちづくり庁内検討委員会構成

企画情報課長	1名	歴史まちづくり推進室2名	総合政策室1名
建設課長	1名	建設係2名	管理係2名
産業振興課長	1名	産業振興係1名	
まちづくり交流課長	1名	商工観光係1名	道の駅準備室1名
生涯学習課長	1名	生涯学習係2名	



●会議の状況

会議名称	開催年月日	概要
第2回歴史的風致維持向上計画協議会	平成28年4月20日	平成27年度進行管理評価等
第1回歴史まちづくり庁内検討委員会	平成28年4月6日	歴まち事業年次計画
第2回歴史まちづくり庁内検討委員会	平成28年4月25日	都市再生整備計画
第3回歴史まちづくり庁内検討委員会	平成28年5月9日	都市再生整備計画
第4回歴史まちづくり庁内検討委員会	平成28年8月16日	阿津賀志山防塁整備
第5回歴史まちづくり庁内検討委員会	平成28年10月12日	防塁整備、公共事業推進計画
第6回歴史まちづくり庁内検討委員会	平成29年2月14日	防塁整備、公共事業推進計画
第7回歴史まちづくり庁内検討委員会	平成29年2月27日	防塁整備、公共事業推進計画
第8回歴史まちづくり庁内検討委員会	平成29年3月29日	防塁整備、公共事業推進計画
第1回国見町文化財保護審議会	平成28年6月30日	27年度実績、28年度事業計画
第2回国見町文化財保護審議会	平成28年12月13日	28年度事業状況、29年度事業計画案

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
阿津賀志山防塁史跡整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～36年度

支援事業名 歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業、史跡等買い上げ事業

計画に記載している内容 史跡の追加指定や公有地化した範囲を含め、整備に必要な情報を得る為の、史跡内容確認調査を行うとともに、堀・土塁などの復原整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①『阿津賀志山防塁整備基本計画』(仮)の策定に向けた委員会・部会の開催(平成28年11月28日、12月21日、平成29年3月23日)
- ②史跡整備に向けた第19次発掘調査の実施(平成28年10月11日～12月16日:国道4号北側地区)
- ③二重堀始点地区・国道4号北側地区 4筆(2232㎡)の公有地化

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

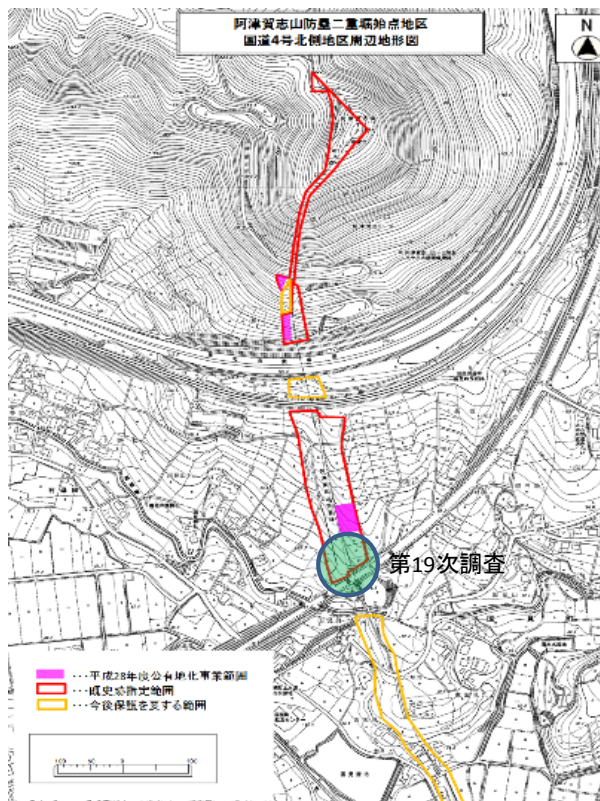
状況を示す写真や資料等



整備・調査指導委員会



委員会現地視察・指導(11月28日)



19次調査現地説明会(12月3日)



19次調査により発掘された堀跡

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財活動支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～36年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業、町単独事業

計画に記載している内容 祭礼や神楽等の伝統芸能を行っている団体と連携し、活動内容の把握と映像による記録作成などの学術調査を行うとともに、団体に対し伝統的な用具等の修繕や活動を保存していく取り組みに対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①町指定無形民俗文化財の保存団体である2団体への助成金
- ②内谷春日神社太々神楽について、明治初期に伝った全26座のうち、現在舞えなくなった演目4座の復活・映像記録を行った。また、小学生や中学生に簡単に神楽の由来や歴史を伝えることのできるイラスト等を駆使した内容で、かつ、神楽を知らない大人へのPRもできる教育普及本を4000部作成した。
- ③子どもへの継承を図る、公民館と連携した子ども太々神楽教室を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



■内谷春日神社太々神楽教育普及本制作
4,000部作成
町内の小、中学校及び内谷地区などへ配布

■内谷春日神社太々神楽演目復活プロジェクト
福島県三春地方の田村市大倉の太々神楽保存会と交流し、指導を受けることで4座が復活し、舞を記録撮影

■無形民俗文化財支援

タイトル	年月日	概要
内谷春日神社太々神楽演目復活プロジェクト	平成28年6月～平成29年3月	演目4座復活、映像記録(文化庁事業)
内谷春日神社太々神楽教育普及本制作	平成28年度	教育普及本(文化庁事業)
内谷春日神社太々神楽保存会への支援	平成28年度	助成金(町単独)
国見伝統文化保存会への支援	平成28年度	助成金(町単独)、フォトコンテスト支援
子ども太々神楽教室	平成28年度	公民館事業、伝統芸能継承支援(町単独)

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
			現在の状況
歴史的町並み調査事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～28年度		
支援事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業		
計画に記載している内容	特に重点区域内には、旧宿場町の面影を残す、町屋や養蚕業の隆盛を反映した養蚕住宅、石蔵等が残る農村集落が存在するが、十分な把握がなされていないため、所在調査や建築等の詳細調査を行い、歴史的風致形成建造物への指定を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域の歴史的建造物を把握するため、小坂地区、森江野地区、大枝地区の3地区での建造物悉皆調査(1次調査:外観)を実施した。(27年度において全5地区中2地区は実施済み)。調査件数は3地区合わせて民家1200件、寺社仏閣41件で、調査の結果、県・町指定文化財に相当する可能性を有するもの及び地域の典型的な特徴を有する建造物が民家89件、寺社11件確認された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



平成28年10月より調査開始
民家の調査を先行して実施



所有者への聞き取りを行ないながら調査
趣旨を理解いただき、内部から調査した物件もあり



泉田川北の観音堂では天井絵を確認



平成29年3月8日悉皆調査報告・指導会

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
国見石保存・活用調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～28年度		
支援事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業		
計画に記載している内容	国見町内において現在石工技術を継承している職人の協力を得ながら石蔵や国見石を使用した建造物の悉皆調査を行い、件数や用途について把握する。併せて、利活用の検討と石工を含めた国見石の保存組織等の結成を推進する取組を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年度に実測調査を行なった旧小坂村産業組合石蔵は、「石の町くみに」を象徴する現存最大規模の石造建造物であり、石造建築技術の発展と石蔵の普及に貢献した証左として、平成28年8月に国登録有形文化財に登録された。また、郡山女子大学長田研究室の長田城治氏及び同大学生の協力により、町内の主な石切り場12か所の実踏調査や、町内の石工に聞き取り調査を実施し、石工技術や石工道具などの記録を行なった。また近隣の石材産地との生産比較、技術伝来について調査した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
<p>国登録有形文化財「旧小坂村産業組合石蔵」登録プレート除幕式(平成28年9月12日)</p>		<p>遠藤石材工業の遠藤久幸氏に聞き取り調査</p>	
			
<p>遠藤石材工業敷地内に残る石切り場機械掘りの跡</p>		<p>石工の遠藤忠重氏の石切り技術調査 ※平成11年度労働大臣表彰「卓越した技能者(現代の名工)」受賞</p>	

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
			現在の状況
歴史を活かしたまちづくり推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～36年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、町単独事業		
計画に記載している内容	歴史を活かしたまちづくりや地域住民のまちづくり参加への意識醸成及びまちの魅力を再発見が重要かつ必要であり、住民向けの講演会、ワークショップ、シンポジウムの開催を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史を活かしたまちづくりを進めるため、様々な視点をもった歴史まちづくりシンポジウムを開催した。 ①第6回「旧小坂村産業組合石蔵」国登録記念「石のまち国見」Presents 石工(ロック)フェスin石蔵」を開催(400名来場) ②第7回「神楽舞の“真実”知っていますか」を開催(80名参加)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



長田研究室の学生2名による石蔵の講演
スタッフとして郡山女子大生20名が参加



日本民俗芸能学会福島調査団長懸田弘訓氏による講演。
第二部の内谷太々神楽実演では懸田氏による舞の解説

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
			現在の状況
情報発信拠点整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～平成28年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業		
計画に記載している内容	本町の歴史に関するエンタランス的な情報発信拠点を整備し、訪問者が本町の歴史文化遺産に係る情報を容易に入手できるよう利便性の向上を図るため、「道の駅」の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「道の駅くにみ あつかしの郷」の概要 敷地面積:約28,000㎡、建築面積:3,233.27㎡、床面積2,726.87㎡、駐車台数170台(大型トレーラー用含む) 平成29年3月竣工 平成29年5月3日グランドオープン			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



道の駅国見 あつかしの郷 全景

道の駅国見 あつかしの郷 施設案内



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
文化財保存ガイダンス施設整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～平成29年度		
支援事業名	地域の特色ある埋蔵文化財活用事業(文化庁)		
計画に記載している内容	旧大木戸小学校校舎を、歴史文化に関する貴重な資料の収蔵・保管・展示の施設として整備し、来訪者への阿津賀志山防塁等のガイダンス及び周遊拠点として活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①旧校舎1階の一部347.72㎡を改修。平成28年度は、展示・ガイダンススペースの工事を行い、改修工事が竣工した。名称を「国見町 文化財センター」とし、住民からの愛称を募集し「あつかし歴史館」と決定する。 ②展示パネル作成、展示スペースの整備を行う。 ③1月10日にオープンし、1月14日にはオープン記念イベントを実施。約100人の来館者がある。 ④オープン以来の来館者は、1月～3月で延べ904人、月平均301名となっている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	○展示内容の充実と利活用の向上が課題である。平成29年度に展示・収蔵		
状況を示す写真や資料等			



旧大木戸小学校



オープン記念イベント(1月14日)



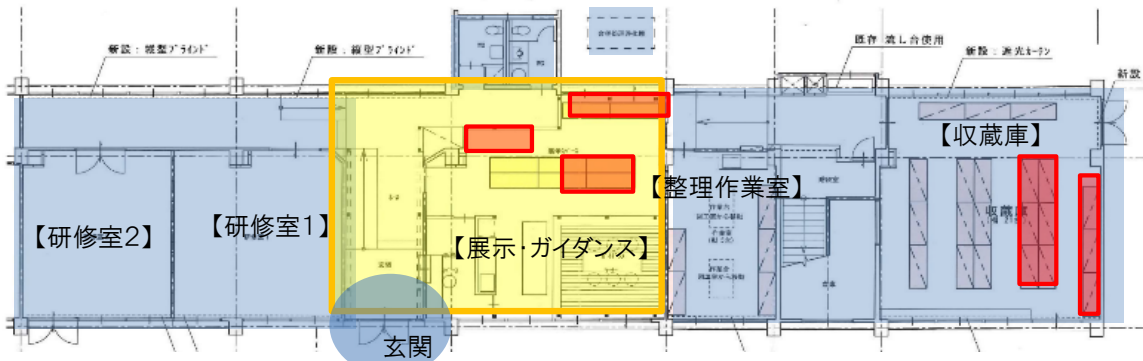
展示・ガイダンススペース



玄関・エントランス



オープン式典(1月10日)

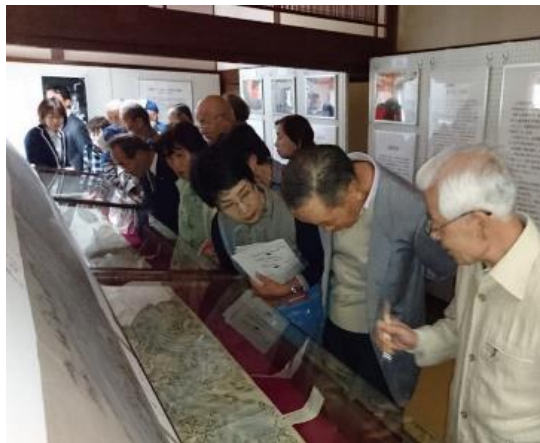


- ...平成27年度実施箇所(主に建築改修工事の範囲)
- ...平成28年度実施箇所(主に建築改修工事の範囲)
- ...平成29年度実施箇所(主に備品設置箇所)

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
			現在の状況
案内ボランティア育成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～36年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	本町を訪問する観光客や小中学校の児童・生徒に対し、町の歴史や人々の伝統的な活動、町並みと現在の国見町について語るができる人材の育成を図る。案内ボランティアの養成・研修を目的とした、講習・現地視察等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本町には、様々な時代や生活文化を反映した文化財が所在し、現地での案内ガイドがセットになることで、魅力・価値が高まる。案内ガイドを担うボランティアガイドの育成を図った。現在案内ガイド「国見町文化財ボランティア」は18名が登録。養成講座に4名が受講。国見町文化財ボランティアの養成・研修会 6回実施 のべ97名参加 視察研修2回、町内現地にて案内ガイドの実施訓練2回、座学・外部講師による研修2回			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ガイドの資質向上と、多くの来町者に対応するための養成が継続的に必要。		

状況を示す写真や資料等



国見町文化財ボランティア研修会4月21日
福島市御倉邸「阿武隈川舟運図と舟運の歴史」



国見町文化財ボランティア研修会・養成講座
「旧奥州道中国見峠長坂跡」実践研修10月15日



文化財ボランティア等研修・養成講座
「楽しい話術でスキルアップ」3月28日

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
		現在の状況	
周遊性向上検討・案内板設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～32年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	来町する観光客が、本町の点在する文化財を効率よく、かつ楽しみながら観光できるより良いルートを検討し、周遊案内板の設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度は、観光客に見てもらいたい地域資源の発掘を目的に町民参加のもと周遊検討、実証実験ツアーを行った。 ①平成28年4月23日 第2回旅づくり塾ワークショップの開催(31名参加) ②平成28年5月21日 第3回旅づくり塾ワークショップの開催(24名参加) ③平成28年11月12日、27日 旅づくり塾モニターツアー(2回開催)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



町民参加型ワークショップの様子



5グループがそれぞれ作った観光ルートを発表

- A：ピンクに染まる義経の町 [60代主婦家族]
→あの時の初恋の桃色に染まる。青春を思い出す旅
- B：国見の秋・まるごと・おなか一杯[4人家族]
→家族で協力！みんなで火を囲む、国見グルメ
- C：国味(国見を味わう) [子ども]
→(+子ども要素) 元気に味わう、国見ごはん！
- D：春の風を感じましょう！ [50-60代夫婦]
→春の風を五感で感じる！生を感じる旅
- E：エクスペリエンス(体験) 国見！ [50代]
→学ぶ&触れ合う！あなたが欲しい国見体験旅



11月には塾生によるモニターツアー
参加者によるまちあるきの様子

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
地域の文化遺産の総合的な把握のための調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～33年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業、町単独事業

計画に記載している内容 本町における多様な文化遺産の総合的な把握に向けて調査を行う。基礎的な調査・研究により情報の蓄積を行い、「歴史文化基本構想」の策定に向けた取り組みを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史文化基本構想策定に向けた、祭礼調査事業、町内歴史文化の基礎的調査、食文化調査を行う。
 ①祭礼調査は、町内に約40の神社があり、春と秋の祭礼について調査・記録を行った。
 ②基礎的調査は、地域で長年研究を続けてきた菊池利雄氏への聞き取り、大学や地域と連携したエコミュージアムの取組を行う
 ③食文化調査は、食の文化祭を開催し、各家庭・地域の行事食・伝統食について情報の収集を行う。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



歴史研究家菊池利雄氏への聞き取り



小坂まるごと博物館で
福島大学学生が小坂地区住民に発表

■祭礼調査

タイトル	年月日	概要
御滝神社滝普請(光明寺地区)	平成28年4月3日	滝普請調査(記録撮影・聞き取り)
御滝神社例大祭(光明寺地区)	平成28年4月9日	例大祭調査(記録撮影・聞き取り)
巖島神社例大祭(川内地区)	平成28年4月10日	〃
春日神社例大祭(内谷地区)	平成28年4月16日	例大祭、太々神楽(記録撮影・聞き取り)
秋葉神社例大祭(貝田地区)	平成28年4月17日	例大祭調査(記録撮影・聞き取り)
春日神社神輿渡御(内谷地区)	平成28年4月17日	例大祭、太々神楽(記録撮影・聞き取り)
鹿島神社例大祭(藤田地区)	平成28年10月21～22日	〃

■町内歴史文化の基礎的調査

タイトル	年月日	概要
歴史研究家資料整理事業	平成28年度	菊池利雄先生への聞き取り29回実施、資料整理
小坂まるごと博物館	平成28年度	福島大学連携(6回実施)、エコミュージアム
光明寺三寺社巡り	平成28年9月4日	郷土史研究会と連携 聞き取り3回

■食文化調査

タイトル	年月日	概要
食の文化祭	平成28年10月23日	行事、郷土食

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財の維持・修理に関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	経年劣化や災害等の外的要因によるき損の恐れがあることから、日頃の維持管理を含めた予防対策と、き損した場合の適切な修理が求められる。所有者等による適切な維持管理と日常的な点検を行うことで損傷の早期発見に努め、必要に応じて、所有者等の意識向上のための適切な助言を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①国史跡「阿津賀志山防塁」ほか町史跡等における草刈 10か所 ②福島県重要文化財(建造物)「旧佐藤家住宅」燻蒸作業 3回実施 ③文化財パトロールの実施 ④天然記念物の保護に関する取組			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



国史跡「阿津賀志山防塁」草刈作業



県重文「旧佐藤家住宅」燻蒸作業



文化財パトロール実施状況
(国史跡「石母田供養石塔」)



天然記念物の保護に関する取り組み
(町天然記念物「深山神社の大榎・大藤」)

評価軸④-2

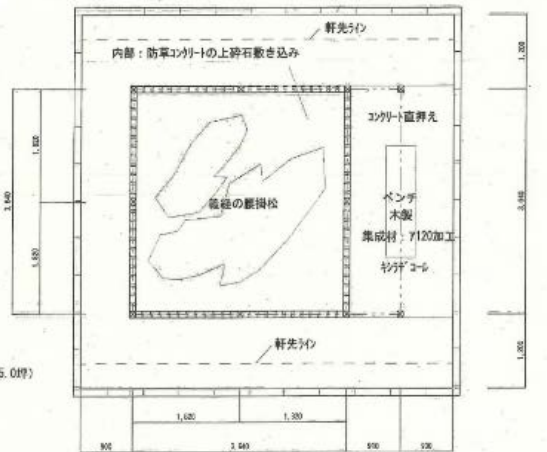
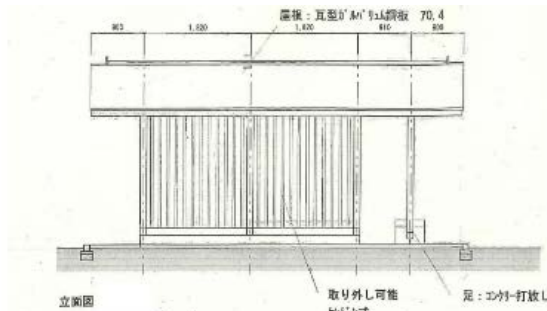
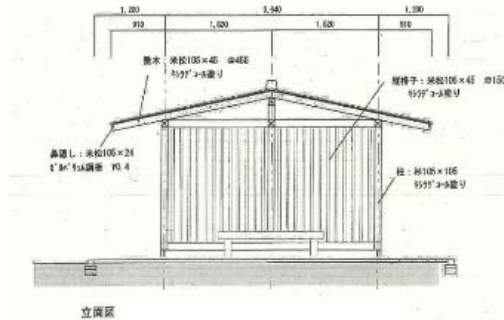
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
			現在の状況
文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	本町は、国見町観月台文化センター内の歴史資料室が、文化財を展示・活用する施設となっているが、博物館的機能や町の文化財を総合的に情報発信する機能は十分ではない。このことから、今後これらに関する機能を持ち合わせた施設の整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財センターの整備とともに、現地の保存・活用施設を充実させることで、周遊する訪問者の利便性を向上させる。 ①文化財保存ガイダンス施設整備事業(評価軸③-2参照) ②「義経の腰掛松」覆屋等改修工事 初代松(江戸後期に枯死)の保存施設を改修。便益施設などを設けた。 ③「貝田宿」誘導サイン看板を設置し、JR貝田駅からの周遊性が向上した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



義経の腰掛松覆屋改修完了状況(西から)



貝田宿案内サイン

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
			現在の状況
文化財の周辺環境の保全に関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	文化財周辺の景観を阻害する要素の改善や除却を推進するとともに、文化財の説明板や案内板、誘導サイン等の公共サイン、便益施設等の公共施設を新たに設置する際や劣化によりその機能を発揮できていないものを再整備する際は、文化財や周辺の環境と調和したものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①義経の腰掛松公園内の仮設覆屋となっていた保存施設を再整備し、文化財および周辺の環境と調和するよう図った。 ②指定文化財周辺における開発にかかわる景観についての相談を受け付け、地元住民団体との意見交換を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">施工前</p>		 <p style="text-align: center;">施工後</p>	
「義経の腰掛松」覆屋改修工事 施工前:仮設覆屋			

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財の防災に関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	火災や地震等の災害による文化財の損失を防ぐため、個別の有形文化財毎に防災対策を検討する等、被災リスクの予防・軽減を図る。不幸にも、文化財が被災してしまった場合は、その後の防災対策に役立てるため、被災履歴を記録する体制を整える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①防火に対する取組 ・国見町消防団と連携し、町内文化財の消防訓練を町内5か所実施(1月26日) ・「文化財防火デー」の取り組みおよび火災への備えを周知するポスターの作成および広報 ②被災文化財に対する取組 ・昨年被災した「阿津賀志山防塁」の記録作成と復旧作業			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	継続した啓発活動の実施。		
状況を示す写真や資料等			
 <p>消防訓練の様子 県重文「旧佐藤家住宅」</p>		 <p>文化財防火デー周知ポスター</p>	
 <p>平成27年9月関東東北豪雨による阿津賀志山防塁の一部崩落状況</p>		 <p>復旧状況</p>	

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、国見町文化財ボランティア等によるガイド活動や講演会・シンポジウムなどのイベントの開催等により、文化財に対しての普及・啓発を広く図っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
建造物等の公開、学校教育との連携、歴史講座・まちあるき、祭礼・市での連携活動、文化財の案内ガイドなどを実施。			
進捗状況 ※計画年度との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



平成29年1月14日 桜の聖母短大生による
貝田地区フィールドワーク かまどdeごはん



平成29年1月27日 国見小学校3年生による
旧佐藤家住宅 むかしの暮らしを知ろう

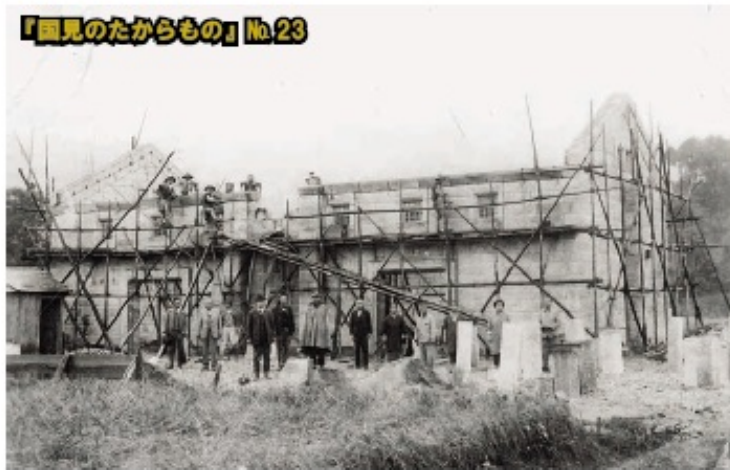
■文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組

タイトル	年月日	概要等
奥山家ディナー(くにみしゅらん)	平成28年4月~6月	奥山家でディナーコンサート3回延べ50名
校外学習(事前講義)	平成28年4月6日	県北中学校1年生 国見町と平泉の関わり
総合学習での国見学の取り組み①	平成28年5月6日	国見小学校6年生史跡探検隊 70名
大枝歴史講座	平成28年5月28日	阿武隈川と人々の関わり 64名(伊達市共催)
奥山家一般公開(義経まつり)	平成28年9月22日	奥山家住宅洋館を一般公開 722名来館
藤田宿まちあるき(義経まつり)	平成28年9月22日	藤田宿のスポットをまちあるき 20名参加
鹿島神社例大祭PR	平成28年10月22日	くにみ市場にてPRブースを設置
旧佐藤家住宅公開	平成28年11月5日~6日	民話の会民話語り、内谷太々神楽公演
かまどdeごはん(産業祭)	平成28年11月5日~6日	国見石のかまどでの炊飯実演 300食提供
石工(ロック)フェスin石蔵	平成28年11月27日	旧小坂村産業組合石蔵で体験型イベント400名
奥山家アフタヌーンティーパーティ	平成28年12月10日	奥山家洋館英国式ティーパーティ 26名参加
だるま市紹介ブース出展	平成28年12月29日	年末恒例伝統行事「だるま市」を紹介
かまどdeごはん(桜の聖母短大)	平成29年1月14日	国見石のかまどでの炊飯実演 100食提供
総合学習での国見学の取り組み②	平成29年1月27日	国見小学校3年生 旧佐藤家住宅 62名
奥山家一般公開(フードフェスタ)	平成29年3月5日	和館で江戸時代の雛飾り展示 693名来館
文化財ボランティア案内件数	平成28年度	48件1,783人(平成27年度34件1,160人)

評価軸④-6
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
		現在の状況	
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本町にある多くの文化財や歴史的遺産は町の成り立ちに大きく関わっている「国見のたからもの」であり、意識が醸成される過程で自らの町の歴史性や風土、この地に伝わる伝統や人々の共同体としての意識が培われていき保存・継承活動に対する理解も深まる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
町民にとって身近な町の広報紙「広報くにみ」で町内の歴史的、文化的に貴重な「たからもの」を募集・紹介。「国見のたからもの」の写真とその解説を毎月掲載。平成26年6月号から平成29年3月までに34回掲載。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			

状況を示す写真や資料等



『国見のたからもの』№.23

「旧小坂村産粟組合石蔵」建物の様子(所在地:国見町大字内谷字西堂地内)
 昭和16年建築の「旧小坂村産粟組合石蔵」は国見石を使用した石蔵として町内最大規模を誇っています。この石蔵は、当時の米穀給ひっ迫により、産粟組合による一元集荷のための穀蔵として建築されました。町内でも珍しい「木骨石造」で、石積壁の完成後に木造の軸組・小屋組を施工したと考えられます。3月11日に開催された国の文化審議会で、国産穀有形文化財に相応しいものとして着中されました。また1つ、国見のたからものが増えました。
 【問い合わせ:歴史まちづくり推進室 ☎585-2967】

『国見のたからもの』№.34

伝統継承への思い
内谷春日神社太々神楽



歌謡記録保存



歌謡復活への取り組み



子ども太々神楽教室

内谷地区に伝わる太々神楽は、明治15年に三善地方から師匠を招いて伝授されたと伝わり、当初26種あったとされる演目は、中断した時期もあり現在では18種となっています。これまでに内谷太々神楽は、発端や教本がなく口伝により伝承されてきました。保存会では、舞の取巻を記録し保存することや、演じるようになった演目も復活させる取り組みを進めています。さらに、子ども太々神楽教室を開催し、多くの子どもたちが伝統文化に触れあうことができました。伝統文化を後世に誇っていききたいという確かな思いが地域の絆を強めています。

【問い合わせ:歴史まちづくり推進室 ☎585-2967】

評価軸④-7
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
----	--------	-----------------

埋蔵文化財の取扱いに関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------	--	---

計画に記載している内容 本町における「周知の埋蔵文化財包蔵地」は、137ヶ所存在する。これらは地域の歴史を語る重要な歴史的資料であり、文化財保護法に基づく保護が求められる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

住宅建設および開発計画に伴う試掘調査を5件実施した。このほか国史跡「阿津賀志山防塁」にかかわる現状変更が3件あり、工事立会などを実施している。
 【開発に伴う試掘調査実施遺跡】・山崎条里遺構 2件 ・藤田城跡 2件 ・阿津賀志山防塁 1件
 【保存目的の範囲確認調査】 ・塚野目古墳群測量調査

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



住宅建設に伴う藤田城跡試掘調査



開発計画に伴う阿津賀志山防塁試掘調査(外堀検出状況)



福岡大学考古学研究室(菊地芳朗教授)との共同調査



塚野目1号墳は、全長66～71m前方後円墳であることが確認された。

評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財の保存・活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 当町には、文化財の調査・発信をしている団体や、無形の民俗文化財を保護するために活動している団体等、多種多様な活動を展開している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【町内民間団体】

- 国見町郷土史研究会による講演会・方部研修会の開催、展示会の実施
 - 9月4日:大木戸方部「門前町光明寺三社めぐり」63人参加
 - 12月3日:歴史講演会「8代伊達宗遠と藤原宗遠」58人参加
 - 文化祭展示(11月、1月)「灯りと暖房の歴史」
 - 1月25日:方部研修会「第12代成宗と小坂の歴史を探る」22人参加
 - 2月16日:方部研修会「森山村のくらしと歴史」22人参加
- 内谷春日神社太々神楽保存会
 - 文化祭における神楽公演(11月1日)および各イベントでの公演(11回)
 - 子ども太々神楽教室(公民館連携事業)
 - 太々神楽4座復活プロジェクト
- 国見町中尊寺蓮育成会による中尊寺蓮の育成
 - 7月31日 中尊寺蓮講演会 178人参加
 - 8月 絵画コンクールの開催 180点応募
- 国見伝統文化保存会による鹿島神社例大祭フォトコンテスト実施 47点応募
- 小坂まちづくりの会によるウォーキング大会等イベント開催

【町外団体】

- JR東日本による「駅からハイキング」の開催 3回開催

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



郷土史研究会の歴史講演会



太々神楽公演(旧佐藤家住宅にて)



中尊寺蓮絵画コンクー



鹿島神社例大祭フォトコンテスト最優秀賞作品



JR東日本小さな旅 貝田・光明寺

評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
文化財の保存・活用に関わる近隣市町村および関連機関との連携・協力した取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 当町の文化財を保存・活用していくためには、本町をはじめとする行政機関だけで取り組むことは難しく、地域において文化財の保存・活用に取り組んでいる団体と連携することは不可欠である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【主催事業】

- 5月28日「大枝歴史講座」伊達市教育委員会共催
- 1月14日「国見町文化財センターオープン記念イベント」福島市教育委員会・伊達市教育委員会・(財)福島県文化振興財団後援
- 福島大学 域学連携事業(内容集落活性化、徳江集落活性化、小坂宿まるごと博物館、塚目古墳群調査)
- 桜の聖母短期大学 域学連携事業(貝田フィールドワーク)

【共催・後援事業】

- 福島市教育委員会主催 ふれあい歴史館企画展「阿武隈川の舟運図と舟運の歴史」後援
- 福島市教育委員会主催 「ふくしま手織りフォーラム2016～養蚕と絹のまつり～」後援

【その他】

- 伊達市・桑折町・福島市との連携に係る意見交換
- NPO民俗芸能を継承するふくしまの会による民俗芸能サポート事業への参加

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



伊達市教委との連携「大枝歴史講座」



福島市教委との連携「勾玉ワークショップ」



福島市ふれあい歴史館企画展に出展した、国見町指定有形文化財「深山神社廻米絵馬」

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	平成28年度
		年月日	掲載紙等
国見の「周遊」考える。学生や町民で「旅づくり塾」		平成28年4月25日	福島民友
文化財プレート除幕 旧小坂村産業組合石蔵		平成28年9月15日	福島民友
福大生、現地で調査発表 小坂宿まるごと博物館		平成29年1月31日	福島民報・民友・河北新報
国見で5月開所 道の駅 あつかしの郷引渡式		平成29年3月29日	福島民報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

- 周遊、観光に関する記事
 国見の「周遊」考える。学生や町民で「旅づくり塾」(平成28年4月25日 福島民友)
 国見の歴史魅力満喫ご朱印めぐりツアー(平成28年6月30日 福島民友)
- 域学連携に関する記事
 国見、福島大学考古学研究室 塚目古墳群説明会(平成28年6月22日 福島民報)
 旧小坂宿の歴史解説 福大生、現地で調査発表 小坂宿まるごと博物館(平成29年1月31日 福島民報・民友・河北新報)
 国見の食文化学ぶ 桜の聖母短大域学連携事業(平成28年1月15日 福島民報・福島民友)
- 文化財センターに関する記事
 国見の旧大木戸小活用へ改修終了 文化財センターお披露目(平成28年8月30日 福島民報)
 愛される施設に 国見 あつかし歴史館開館(平成29年1月11日 福島民報・民友)
 国見の歩みに触れる あつかし歴史館開館記念イベント(平成29年1月17日 福島民報)
- 情報発信拠点整備事業に関する記事
 道の駅県内30番目 国見あつかしの郷を登録(平成28年10月8日 福島民報・民友)
 国見で5月開所 道の駅 あつかしの郷引渡式(平成29年3月29日 福島民報)
- 祭礼・イベントに関する記事
 文化財プレート除幕 旧小坂村産業組合石蔵(平成28年9月15日 福島民友)
 国見・鹿島神社フォトコンテスト(平成28年12月16日 福島民報・福島民友)
 奥山家住宅で英国式茶会(平成28年12月19日 福島民報)
 来年の福求めて品定め だるま市にぎわう(平成28年12月30日福島民友、31日福島民報)
 昔の生活様式に触れる 国見の小3社会科見学(平成29年1月29日 福島民報)
- 阿津賀志山防壁に関する記事
 地域活性化へ史跡整備議論 住民ワークショップ(平成29年3月15日 福島民友)
- 講演会・シンポジウムに関する記事
 石材加工技術PR 国見で石工フェス(平成28年11月28日 福島民友)
 神楽舞の起源や演目の特色解説(平成29年3月15日 福島民報・民友)

評価軸⑥-1
 その他(効果等)

	評価対象年度	平成28年度
--	--------	--------

項目
 文化財の保存・活用の普及・啓発による効果

本町では、本町の文化財の活用を効果的に行うために、町内外の多くの人々に文化財の存在を知ってもらい理解してもらう機会を提供する普及・啓発の取り組みを行ってきた。奥山家住宅などの歴史的建造物等については、町のイベントや文化財公開デーなどの機会に内部を公開し、町内外の人々へ魅力を発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成28年9月、義経まつりでの奥山家住宅一般公開では、町外からも459名が訪れ、来館者総数722名で昨年度と比較して約10%来館者数が伸びている。また、文化財ボランティア利用者延べ人数及び利用団体数は平成28年度1,783名利用、48団体利用で前年度比で約1.5倍に伸びている。歴史の町くにみのPRと歴史まちづくり計画認定事業の実施による効果が表れている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

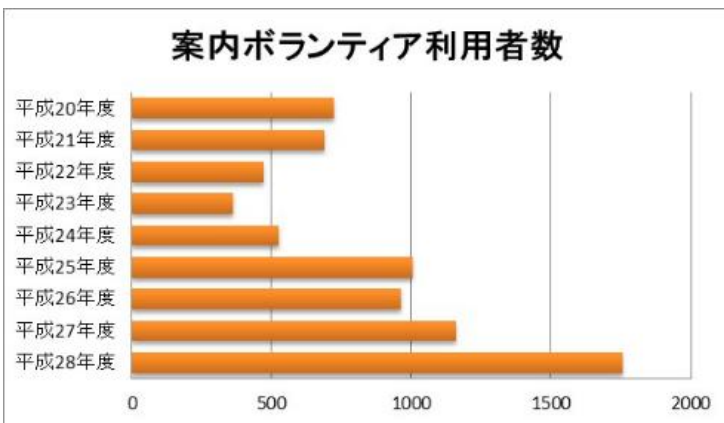
状況を示す写真や資料等

■国登録有形文化財 奥山家住宅洋館・主屋の一般公開

	来館者数	うち町外者数(割合)
平成26年9月23日 義経まつり	440名	290名(65%)
平成27年9月20日 義経まつり	652名	529名(81%)
平成28年3月5日 奥州街道フードフェスタ	651名	365名(56%)
平成28年9月22日 義経まつり	722名	459名(63%)
平成29年3月5日 奥州街道フードフェスタ	693名	485名(70%)

■国見町文化財ボランティアの利用実績

年度	利用者延べ人数	団体利用延べ数
平成25年	1,005	14団体
平成26年	963	13団体
平成27年	1,160	34団体
平成28年	1,783	48団体



評価対象年度	28年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第3回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成29年5月17日 10時30分～12時15分	
<p>(コメントの概要)</p> <p>【進捗評価について】</p> <p>①案内ガイドについて利用実績は高いが、数値目標の設定はなされているのか。最終的に何人程度のガイドが必要なのか。また、案内ガイドの利活用についての広報はどのようになされているか。</p> <p>②あつかし歴史館のオープン以降の利用者数はどの程度か。道の駅からの来訪者の誘導ということも重要。</p> <p>③貝田宿案内サインのデザインは、今後統一デザインとしていくのか。</p> <p>④義経の腰掛松の伝承は、源義経が防塁を含めた奥州合戦のプランを行った可能性が高く、伝承だけでなく、防塁の根幹に義経の存在があったという解説も関連してアピールしても良いのではないか。</p> <p>⑤初代腰掛松の古木に対する保存処理等が必要ではないか。</p> <p>⑥奥山家住宅の公開に700人以上の多くの見学者が来ている。個人所有の歴史的建造物の公開としては大変な数であり、所有者にも苦勞をかけないようにしっかりと案内が必要ではないか。</p> <p>⑦広範囲にわたる事業であり実務を行う担当部署を明記することも必要。膨大な取り組みの記録・資料が後年でも追跡できるような、資料整理の仕組み、記録・管理の方法について検討してほしい。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>①: 道の駅もオープンし観光づくりに力をいれる必要があり、ガイドの重要性は益々増加している。来訪者のニーズを把握しながら案内ガイドを広く養成する取り組みを重点的に進める。</p> <p>②オープンから4月末まで約1,200人の来場者。今後、道の駅を拠点として情報発信、PRを行ない町内各所への周遊につなげる。</p> <p>③駅からの誘導サインがなく早急に解決したい課題であったため、事業成果も用いながらデザインを作成した。シティープロモーション事業を展開しており、今後統一したデザインを検討していく。</p> <p>④地域に伝わる伝承とともに、関連して史跡、文化財のアピールをしていく。</p> <p>⑤風化が進み安定していることから保存処理は必要ないと認識している、今後もモニタリングは継続していく。</p> <p>⑥多くの方に来ていただいているので所有者に負担がないよう監視、案内の対応者を増やすなど対応していく。</p> <p>⑦評価シートの作成には苦勞しているのが現状であり、記録を整理して次に繋げられるよう取り組みたい。記録・資料の保管を一括して行ない、しっかり残せる方策を考えていく。</p>	